

## ○ プログラム作成の目的 (H22.12.21 骨子より)

- ◆ 同じ政策目標を共有する事業、施策の集合体をプログラムととらえ、プログラム単位で関連する施策・事業の概要を明らかとする こと
- ◆ その際に、プログラム単位で、アウトカム(成果目標)及び関連する事業・施策の概要及びそれらのアウトプット(事業実施の必要量、箇所数等)をパッケージ化して提示することで、各事業・施策が目指す姿を総合的に明らかにする こと

## ○ 現在までの作業状況

- ◆ 施策・事業の整理(棚卸し)を行い、プログラムとの関連について整理
- ◆ プログラム毎の目標の提示方法のイメージを作成

## ○ これまでの作業で明らかになった課題

- 政策目標を達成するために、個々の事業・施策がどのように寄与するのかわかりづらい。
- プログラムに関連する事業・施策について、相互連携の手法や効果が不明確。
- プログラムに係る政策目標を達成するため、関連する事業・施策の中からどれを選択し実施すべきか、指針性が必要。

## ○ プログラムの提示方法

- 事業・施策の効果と政策目標(アウトカム)との関連性を、国民にわかりやすく提示することがプログラムの目的。
- そこで、以下を基本として、事業・施策の種類に応じた、効果の提示の仕方を検討してはどうか。

- ① 事業・施策の実施と、政策目標の達成とが密接に関連する場合には、事業・施策の今後実施すべき必要量、箇所数等を示すことを検討。
- ② 直接的な関連づけが難しい場合にも、事業・施策の実施が政策目標の達成のためにどのように(どの程度)寄与するか示すことを検討。
- ③ 単一の事業・施策の実施による効果のみではなく、複数の事業・施策を連携(組み合わせ)ることにより得られる効果を示すことも検討。

